

秋田創生 COC+ 通信

2018.12月

秋田就職サポート会議を開催しました

8月8日(水)秋田商工会議所ホール80において、平成30年度第1回秋田就職サポート会議を開催しました。この会議は学生の県内就職率アップを図るため、COC+参加大学や秋田県、秋田商工会議所などの事業協働機関の就職担当者が一堂に会し、各団体の取組に関する情報共有や、今後の対策強化についての意見交換を行うことを目的に毎年2回開催しております。

会議では大学や事業協働機関等の各団体から学生の県内就職の状況・動向、事業の取組、採用活動の取組等について発表があり、「大学と企業による情報交換会」*や「秋田ものづくりオープンカレッジ」*など、大学と企業等の連携した取組を強化していくことしました。(*3P参照願います)



ジョブシャドウイングを実施しました

秋田県立大学が12社においてジョブシャドウイングを実施しました。

うち5社(*印)は秋田大学との連携による実施です。

実施日	実施企業	所在地	参加者
8/7	エイディケイ富士システム(株)	秋田市	8 *
8/9	秋田エプソン(株)	湯沢市	8 *
8/28	日本製紙(株)秋田工場	秋田市	5 *
8/28	ニプロファーマ(株)大館工場	大館市	5
9/3	(株)秋田今野商店	大仙市	4
9/10	横手建設(株)	横手市	3
9/12	(株)ウエンティ・ジャパン	秋田市	9 *
9/13	秋田渥美工業(株)	横手市	4
9/14	日立オートモティブシステムズ(株)秋田事業所	横手市	4 *
9/14	(株)ヤマダフーズ	美郷町	6
9/19	(株)池田	由利本荘市	4
9/20	秋田指月(株)	羽後町	4

ジョブシャドウイングとは、

学生が事業所で働く人に「影」のように寄り添い、その仕事内容や職場での様子を1日だけ観察するインターンシップの一形態です。

ジョブシャドウイングのプログラム

- ①代表者からの講話
- ②社員からの業務内容紹介
- ③若手社員とのランチミーティング
- ④職場見学
- ⑤社員との意見交換
- ⑥まとめのレポート作成



▼参加した学生の感想

- 業界の現状について話しを聞くことが出来て、とても有意義であった。
- 将来このような形で仕事をするのだという具体的なイメージを持つことができた。
- 代表者の話を聞いて、自分が世の中をどう変えたいか、どう良くしていきたいかを考えるようになった。
- もともと秋田県での就職を考えていました。今回のジョブシャドウイングでは、その気持ちがますます大きくなりました。
- 自分の好きなこと、興味があることは、やはり働く上で大きなモチベーションになるし、働く原動力になるなと思いました。
- 働いている社員の方々が、強い責任感をもって仕事に臨んでいることが分かり、大いに刺激を受けた。
- 自分も適切な報告が出来るよう、大学での教員とのやり取りにおいて意識付けしていきたい。
- コミュニケーション能力と自分で考え動く積極性が必要だと感じた。
- 目標があるという事がとても大事だとわかりました。

参加した学生にとって、将来の職業選択肢の一つとして県内企業を考える機会になったようです。



このジョブシャドウイングは、来年の春休みにも実施しますので、企業の皆様のご協力をお願い致します。

「大学と県内企業による情報交換会」を開催しました

秋田大学・秋田県立大学・秋田高専の3校の就職推進担当と県内企業の採用担当が一堂に会し、「大学と県内企業による情報交換会」を開催しました。

日程・会場・ 参加企業数

9月5日(水)	県北会場	北秋田市民ふれあいプラザコムコム	— 10社参加
9月6日(木)	中央会場	秋田大学手形キャンパス総合研究棟	— 55社参加
9月7日(金)	県南会場	横手市交流センターわいわいプラザ	— 14社参加

【プログラム】

第1部 ● セミナー「採用活動を進めるためには」（学生の就職状況や就活スケジュールの実情等について）

第2部 ● セミナー「企業の魅力を伝えるためには」（発表企業：秋田ダイハツ(株)様／(有)熊谷機械設計様）

第3部 ● 個別相談会



県北会場



中央会場



県南会場

参加者からは、「学生採用について背中を押されたように感じた。」などの前向きな意見が多く寄せられており、県外企業による旺盛な採用攻勢の中にあって、今後の県内企業によるより積極的な学生へのアプローチが期待されます。

第3回秋田ものづくりオープンカレッジを開催しました

秋田大学と秋田県立大学及び秋田県の主催、あきた企業活性化センターの共催により、「第3回秋田ものづくりオープンカレッジ」を開催しました。本イベントは、COC+事業の一環として、学生にオンリーワンの技術をもった元気な県内企業を知ってもらうことを目的に、10月17日(水)に秋田県立大学、10月23日(火)に秋田大学の両キャンパスにおいて、県内の自動車、航空機、医療福祉機器、情報通信の4分野に携わる38社がブースを出展し、事業内容や製品の紹介、企業の魅力のPRを行いました。



秋田大学と秋田県立大学の両会場とも約250名の学生が来場し、実際の製品に触れながら企業担当者の説明に熱心に聞き入りました。参加した学生からは、「県内企業の技術力や研究について知ることができ、また、働くことへの意識が高まった」などの感想が寄せられており、来年度も引き続き開催したいと考えております。

第2部として、「世界にはばたくものづくり講演会」も開催され、医工連携の最先端で活躍する株式会社セントラルユニ(東京都)様とエヌピーエス株式会社(大館市)代表取締役社長の池田秀雄氏による講演が行われ、両会場合わせて約170名の参加がありました。



第21回秋田高専COC+講演会を開催しました

11月9日(金)秋田高専大講義室において、第21回COC+講演会を開催しました。

秋田高専COC+講演会は県内企業経営者や技術者、秋田県庁などの産業振興や雇用促進を担当する行政官等の講演を通じて、本校学生が地域を理解し、地域の課題を発見・解決しようとする気付きを与え、地域に定着する若者人口を増大させることを目的としたものです。



今年度4回目となる本講演会では株式会社アクトラスの代表取締役真田慎氏を講師に迎え、2年生167名を対象として「未来の技術者のための心構え」という演題で講演が行われました。様々な事例をもとに技術の進歩についてや製品開発の現状について紹介していただき、初めてのCOC+講演会となった2年生にとって、技術や企業を知る上で大変有意義なものとなりました。

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)

【平成27年度～平成31年度】

- 【COC+大学】 秋田大学
- 【COC+参加大学】 秋田県立大学・秋田工業高等専門学校
- 【COC+協力大学】 国際教養大学・秋田公立美術大学・日本赤十字秋田看護大学
- 【事業協働機関】 秋田県・秋田商工会議所・秋田県商工会連合会
秋田県中小企業団体中央会・秋田県ふるさと定住機構
秋田銀行・北都銀行・秋田高専産学協力会



秋田大学

【発行者】 秋田大学地(知)の拠点推進本部

TEL 018-889-3246 FAX 018-889-3168 E-mail coc-plus@jimu.akita-u.ac.jp